

# News Release

平成 22 年 2 月 17 日

## 平成 22 年度接続料金の認可申請について

本日、総務大臣に対し、平成 22 年度に適用する長期増分費用方式による接続料金について、接続約款変更の認可申請を行いました。

### 1. 長期増分費用方式による接続料金の認可申請の概要

加入者交換機(GC)及び中継交換機(IC)等の接続料金について、総務省から通知された長期増分費用モデルに基づき、平成 21 年度下期及び平成 22 年度上期の予測通信量等を用い算定しました。

また、交換機等費用に含まれる NTS コスト<sup>※1</sup>については、接続料規則に基づき、き線点 RT-GC 間伝送路コスト<sup>※2</sup>の 5 分の 4 を加算しており、それ以外の NTS コストは全額控除しております。

※1 NTS コスト(Non-Traffic Sensitive Cost): 交換機設備のうち、通信量の増減によって変化しない装置の費用です。

※2 き線点 RT-GC 間伝送路コスト: き線点 RT(Remote Terminal:メタルケーブルに収容する電話等の通信を、加入者交換機まで光ファイバで伝送するために多重化する装置)が設置されている収容局から、加入者交換機設置局までの中継伝送路に係る費用です。

### ○主な接続料金案

区 分	平成22年度	(3分間当たり)
		(参考)平成21年度
GC接続	5.21円	4.52円
IC接続	6.96円	6.38円

		(回線・月当たり)	
区分		平成22年度	(参考)平成21年度
PHS基地局回線機能		1,716円	1,741円
(月当たり)			
中継伝送専用機能	MA内・24回線 (1.5Mbit/s相当) の場合	24,711円	29,473円
(月当たり)			
加入者交換機 回線対応部専用機能	〔 24回線 (1.5Mbit/s相当) ごとに 〕	31,307円	29,392円
中継交換機 回線対応部専用機能	〔 24回線 (1.5Mbit/s相当) ごとに 〕	2,681円	3,302円
中継交換機 接続用伝送装置利用機能	〔 672回線 (50Mbit/s相当) ごとに 〕	27,482円	28,896円
(1件当たり)			
加入者交換機等 接続回線設置等工事費 〔 672回線(50Mbit/s相当)ごとに 〕	定期申込み	190,500円	199,285円
	随時申込み	318,136円	334,799円

## 2. 実施時期

総務大臣の認可を得た後、平成22年4月1日(木)から接続約款の変更を実施します。

本件に関するお問い合わせ先  
 NTT 東日本  
 経営企画部 営業企画部門  
 TEL : 03-5359-3930  
 E-mail : kikakur@sinoa.east.ntt.co.jp